

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
住環境等	地上付近の放射線量の監視	<p>1 サーベイメーターによる測定 【調査頻度】各振興局等が実施(一関市、奥州市、平泉町は偶数月、それ以外の市町は年2回測定) 【調査場所】 奥州金ヶ崎地域:旧市町村単位に庁舎前及び公園 計13地点 (金ヶ崎町の2地点については偶数月のみ測定) 両磐地域:旧市町村単位に庁舎前及び公園 計18地点 花北・北上地域:花巻市、北上市の県合同庁舎及び公園 計3地点 合計 34 地点 ※計測方法:高さ1m、50cm、5cm(庁舎では建物から離れた舗装駐車場等、公園では中央付近の未舗装箇所を実施) 【調査結果】 前回とほぼ変動なし 令和5年8月の状況 奥州金ヶ崎地域 : 0.03 ~ 0.08 μSv/h 両磐地域 : 0.04 ~ 0.08 μSv/h 花北・北上地域 : -</p> <p>2 モニタリングポストによる空間線量率の測定 【調査場所】奥州地区合同庁舎、一関市三反田、花巻地区合同庁舎 【調査期間及び結果】 前回とほぼ変動なし 令和5年8月1日 ~ 令和5年8月31日 の日間値(月平均) 花巻地区合同庁舎 : 0.028 ~ 0.031 μGy/h 奥州地区合同庁舎 : 0.037 ~ 0.040 μGy/h 一関市三反田 : 0.036 ~ 0.039 μGy/h</p>	<p>・調査結果をHP及び報道機関へ公表 (除染に関する内容は「生活空間の除染」の欄に記載)</p>	<p>保健福祉環境部 出典:岩手県ホームページ (環境保全課)</p>
	水道水	<p>○水道水測定結果 【調査箇所等】管内では、奥州市、一関市及び平泉町が管理する水道施設各1か所において測定(四半期ごとに実施) 【調査結果】(令和5年10月2日 測定) 各施設とも放射性セシウム不検出。 ※ 管理目標値10Bq/kg</p>	<p>・調査結果をHP及び報道機関へ公表</p>	<p>保健福祉環境部 出典:岩手県ホームページ (県民くらしの安全課)</p>

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
	河川、海 域、地下水 等の監視	<p>1 地下水測定結果(環境省実施) 【調査日】令和5年5月15日～令和5年6月27日 【調査場所】県南局管内4市町17地点(県全体で9市町 井戸22地点) 金ヶ崎町(2)奥州市(5)、平泉町(2)、一関市(8) 【調査結果】令和5年9月15日 公表 放射性セシウム(セシウム134とセシウム137の合計)は不検出</p> <p>2 公共用水域の水質及び底質測定結果(環境省、県実施) 【調査日】令和5年5月15日～令和5年5月24日 【調査場所】県南局管内 13河川 18地点(一関市12、奥州市4、平泉町2) 【調査結果】前回とほぼ変動なし。</p> <p>水質は、すべて放射性セシウム不検出 底質は 不検出～31Bq/kg(乾泥) 周辺環境(土壌)は、不検出 ～1,424Bq/kg(乾)</p>	<p>・調査結果をHP及び報道機関へ公表</p>	<p>保健福祉 環境部 出典:環 境省ホー ムペー ジ、岩手 県ホーム ページ (環境保 全課)</p>
流通食 品	流通食品の 監視	<p>流通食品を収去し、検査を実施 【調査日】令和5年4月1日～令和5年9月30日 【調査対象】22検体(内訳:農畜産物22、水産物-、飲料水-、乳児用食品-、その他-) 【調査結果】 全て基準値以下(基準値:一般食品100Bq/kg、乳児用食品・牛乳50Bq/kg、飲料水10Bq/kg)</p>	<p>・調査結果をHP及び報道機関へ公表</p>	<p>保健福祉 環境部 出典:岩 手県ホー ムページ (放射能 に関する 情報)</p>

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
農林水産物(農産物)	水稻	<p>【平成27年産】 【調査場所】管内8点(全県33点、市町村毎1点) 【調査結果】一関市、平泉町(9月2日、不検出)、北上市(9月3日、不検出) 花巻市、奥州市、金ヶ崎町(9月10日、不検出)、遠野市(9月11日、不検出) 西和賀町(9月17日、不検出)</p> <p>【平成28年産】 【調査場所】管内8点(全県33点、市町村毎1点)9月上～10月上 【調査結果】一関市、平泉町、奥州市、金ヶ崎町、遠野市(9月9日、不検出) 花巻市(9月13日、不検出)、北上市(9月16日、不検出)、西和賀町(9月23日、不検出)</p> <p>【平成29年産】 【調査場所】管内8点(全県33点、市町村毎1点)9月上～10月上 【調査結果】奥州市、金ヶ崎町(9月12日、不検出) 一関市、平泉町(9月20日、不検出)、北上市、西和賀町(9月25日、不検出) 花巻市(9月28日、不検出)、遠野市(10月2日、不検出)</p> <p>【平成30年産】 一関市・平泉町(9月12日不検出)、奥州市・金ヶ崎町(9月7日不検出)、 西和賀町(9月19日不検出)、花巻市・北上市(9月13日不検出)、遠野市(9月25日不検出)</p> <p>【令和元年産】 各市町1点ずつ検査(検査結果が出るまでの出荷自粛は無し) 奥州市・金ヶ崎町(9月2日不検出)、花巻市(9月6日不検出)、北上市(9月9日不検出)、一関市(9月12日)、遠野市(9月25日不検出)(西和賀町、平泉町は検査不要)</p> <p>【令和2年産】 花巻市(9月9日 不検出)、一関市(9月10日 不検出)、北上市(9月20日 不検出)、遠野市(9月23日 不検出)、奥州市(9月25日 不検出)、金ヶ崎町1.6Bq(9月25日)</p> <p>【令和3年産】 一関市(9月2日)、奥州市(9月22日)、金ヶ崎町(9月22日)、花巻市(9月21日)、北上市(9月22日)、遠野市(9月28日) いずれも不検出(西和賀町、平泉町は検査対象外)</p> <p>【令和4年産】 花巻市(9月8日)不検出(西和賀町、平泉町は検査対象外) 北上市(9月21日)、一関市(9月22日)、奥州市(10月3日)、金ヶ崎町(10月3日)、遠野市(10月3日)いずれも不検出</p> <p>【令和5年産】 花巻市(9月4日)不検出 北上市(9月20日)、一関市(9月20日)、遠野市(9月28日)、奥州市(10月2日)、金ヶ崎町(10月2日)いずれも不検出</p>	<p>・調査結果をHP、報道機関へ公表</p> <p>・随時、米卸や小売業者に対して調査結果の情報を提供</p>	農政部、普及センター

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(農産物)	麦・大豆・そば等	<p>1 麦(大麦、小麦)</p> <p>【平成27年産】</p> <p>【調査場所】保管倉庫別、品種別に管内18点(全県39点)</p> <p>【調査結果】-</p> <p>【平成28年度】</p> <p>一関市 二条大麦(6月27日)不検出、六条大麦(7月6日)不検出、小麦(7月19日)不検出</p> <p>平泉町 小麦(7月19日)不検出</p> <p>奥州市 六条大麦(6月29日)、小麦(7月15日)不検出</p> <p>金ヶ崎町 小麦(8月1日)不検出</p> <p>【平成29年度】</p> <p>一関市 二条大麦(7月5日)不検出、六条大麦(7月5日)不検出、小麦(7月13日)不検出</p> <p>平泉町 小麦(7月13日)不検出、奥州市 小麦(7月26日)不検出</p> <p>北上市 小麦(7月26日)不検出、花巻市 小麦(7月28日)不検出</p> <p>遠野市 小麦(7月28日)不検出、金ヶ崎町 小麦(8月10日)不検出</p> <p>【平成30年度】</p> <p>一関市 六条大麦、二条大麦(7月4日)不検出、小麦(7月11日)不検出</p> <p>平泉町 小麦(7月11日)不検出、奥州市 六条大麦(6月26日)不検出</p> <p>金ヶ崎町 小麦(7月31日)不検出、花巻市 小麦(7月26日)不検出、</p> <p>北上市 小麦(7月24日)不検出、奥州市 六条大麦(6月26日)、小麦(7月19日)不検出</p> <p>遠野市 小麦(7月24日)不検出)</p> <p>【令和元年度】</p> <p>小麦:花巻市1点(7月19日)不検出、奥州市1点(7月9日)不検出、一関市1点(7月9日)不検出</p> <p>大麦:奥州市1点(7月4日)不検出、一関市1点(6月21日)不検出</p> <p>(その他の市町は検査不要)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果をHP、報道機関へ公表 ・随時、実需者に対して調査結果の情報を提供 	農政部、普及センター

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(農産物)	(麦・大豆・そば等)	<p>【令和2年産】 大麦:奥州市(6月19日)1点不検出 小麦:一関市(7月7日)1点、奥州市(7月8日)1点、花巻市(7月20日)1点 いずれも不検出</p> <p>【令和3年産】 大麦:奥州市(6月24日)1点不検出 小麦:一関市(7月6日)、奥州市(7月13日)、花巻市(7月26日)各1点いずれも不検出</p> <p>【令和4年産】 大麦:奥州市(6月17日)1点不検出 小麦:一関市(7月6日)、花巻市(7月13日)、奥州市(7月14日)各1点いずれも不検出</p> <p>【令和5年産】 大麦:奥州市(6月16日)1点不検出 小麦:一関市(7月7日)、奥州市(7月14日)、花巻市(7月20日)各1点いずれも不検出</p> <p>2 そば 【平成27年産】 (1) そばの放射性物質検査 ア 管内10点(全県39地点)を検査 奥州市 3点、金ケ崎町 1点、花巻市 1点、北上市 1点、西和賀町 1点、遠野市 1点、一関市 2点 イ 結果 一関市旧大原町(10月6日 6.2Bq/kg)、同旧大原町以外(10月19日 不検出)、北上市・西和賀町(10月1日 不検出)、奥州市(衣川区除き10月6日 不検出、衣川区11月6日 190Bq/kg基準値超過、全袋検査によりサンプル以外基準値以下のことから11月20日 自粛解除)、金ケ崎町(10月6日 不検出)、遠野市(10月19日 不検出)、花巻市(11月6日 不検出)</p> <p>(2) 放射性物質の吸収抑制対策 旧市町村毎1点の土壌分析を実施し、結果に応じて塩化カリを施用</p> <p>(3) 事業効果実証試験 管内1市(花巻市)で実施中 ※ (2)は東日本大震災農業生産対策交付金事業</p>	<p>・調査結果を県HP、報道機関へ公表 ・30年産そば(奥州)の放射性物質の吸収抑制対策として塩化カリ施用指導</p>	(農政部、普及センター)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
	(麦、大豆、そば等)	<p>【平成28年産】</p> <p>(1)そば衣川地区特別対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年に50Bq超の放射性セシウムの検出地域(奥州市、旧衣川村)及びその周辺地域(奥州市旧小山村、旧若柳村、旧前沢町、旧平泉町、旧巖美村)が全戸放射性物質検査対象、対象地域以外は市町1点検査対象 50Bqを超える地域とその周辺地域は全戸、その他の地域は旧市町ごと1点の土壌診断を行った結果に基づき、塩化カリ施用量を算出し、JAより配布済。 全戸検査対象地区は、チェックシートを用いて、作付者全戸に処理方法等を確認(7月22日)。 奥州市衣川区(小山、若柳、前沢地区を含む)そば生産者を対象に放射性物質研修会の開催(6月10日 衣川総合支所)出席者11名、当日不参加者には後日個別に巡回し、内容を説明済み)6月24日、6月27日 7月12日農水省 現地打合せ(衣川総合支所、現地圃場) 7月26日・27日、8月10日・23日 JAと連携し衣川区そば生産者(15名)の播種状況の確認(チェックシートの記入・聞取り) 10月25日、26日、11月2日奥州市、普及、振興局により衣川区そば生産者(15名)の収穫状況の確認(チェックシートの記入・聞取り)、作柄は不良の様子 <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣川地区及び周辺地区(若柳・小山)における放射性物質検査2検体不検出(12月8日) 放射性物質影響防止対策に係る現地検討会(2月1日)で平成29年計画検討 <p>(2)検査結果</p> <p>奥州市(10月26日、不検出)、金ヶ崎町(10月26日、不検出)、花巻市(12月6日、不検出) 北上市(9月20日、不検出)、西和賀町(10月5日、不検出)、遠野市(10月21日、不検出) 一関市(夏そば8月1日、不検出 秋そば10月6日、不検出)</p>		(農政部、普及センター)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(農産物)	(麦、大豆、そば等)	<p>【平成29年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作付予定者リストアップ ・該当圃場の土壌サンプリング実施(全圃場) ・チラシを配布し、そばの作付予定者は届出るよう周知 ・塩化カリ施用量産出のための土壌分析実施 ・<奥州市衣川区と周辺地域>個別巡回による対策状況確認(9/5) ・<一関>夏そばが不作のため分析なし ・<一関>秋そば生育状況確認(湿害等で生育不良の圃場多し) <p>[検査結果]</p> <p>西和賀町(9月21日、不検出)、北上市(10月4日、不検出) 一関市(旧巖美村を除く)(10月5日、不検出)、金ヶ崎町(10月12日、不検出) 遠野市(10月27日、不検出)、 奥州市(旧衣川村、旧小山村、旧若柳村、旧前沢町を除く)(11月15日、不検出) 花巻市(11月29日、不検出)、 奥州市(旧衣川村)(12月6日、不検出)、奥州市(旧小山村)(12月6日、不検出) 一関市(旧巖美村)(12月8日、不検出) 平泉町(旧平泉町)(12月21日、¹³⁷Cs 4.1Bq/kg: 基準値以下)</p> <p>【平成30年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋そば調査結果 一関市(10月11日 不検出)、金ヶ崎町(10月11日 不検出)、花巻市(11月13日 不検出)、遠野市(10月26日 不検出)、奥州市(10月24日 不検出)、北上市(10月11日 不検出)、西和賀町(10月2日 不検出)、平泉町(11月28日 不検出) <p>【令和元年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋そば調査結果 一関市(11月5日 不検出)、金ヶ崎町(10月23日 不検出)、遠野市(10月24日 不検出)、奥州市(10月23日 不検出)、北上市(10月10日 不検出)、西和賀町(9月27日 不検出)、花巻市(12月20日 不検出) <p>【令和2年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋そば調査結果 一関市(10月16日 不検出)、金ヶ崎町(10月8日 不検出)、遠野市(10月16日 不検出)、奥州市(10月12日 2.2Bq)、北上市(10月9日 不検出)、西和賀町(9月16日 不検出) ・花巻市(11月16日 不検出)、平泉町は検査中止 <p>【令和3年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋そば調査結果:西和賀町(9月28日)、金ヶ崎町(10月7日)、奥州市(10月7日)、北上市(10月14日)、花巻市(11月24日)いずれも不検出 <p>【令和4年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋そば調査結果:西和賀町(9月30)、花巻市(10月21日)、奥州市(10月28日)、北上市(11月7日)いずれも不検出 <p>【令和5年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋そば調査結果:奥州市(10月17日)、北上市(10月19日)いずれも不検出 		(農政部、普及センター)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(農産物)	(麦、大豆、そば等)	<p>3 大豆</p> <p>【平成27年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関市磐清水の出荷制限解除(7月1日) <p>(1) 大豆の放射性物質検査</p> <p>ア 調査場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関市旧磐清水村13点、同旧磐清水村以外1点、平泉町1点、 <p>イ 調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 花巻市・北上市・奥州市・金ヶ崎町・一関市旧磐清水村以外(10月29日 不検出)、平泉町(11月5日 不検出)、遠野市(11月19日 不検出)、一関市旧磐清水村(11月30日 不検出) <p>(2) 放射性物質吸収抑制対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内8市町(花巻市、北上市、西和賀町、奥州市、金ヶ崎町、遠野市、一関市、平泉町)で東日本大震災農業生産対策交付金事業の対象となる塩化カリ施用対象者を取りまとめ、塩化カリを配布 <p>(3) 事業効果実証試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内8市町でサンプリング地点が決定し、うち6市町(花巻市、北上市、西和賀町、遠野市、金ヶ崎町、平泉町)で実施中 平泉町で試験区(塩化カリ無施肥)から放射性物質が検査で検出された(基準値以下) <p>【平成28年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関市、奥州市 塩化カリ2袋/10a配布済み 奥州市(3ヶ所)圃場において、事業効果実証試験(卒業試験)を実施し 調査点数 旧磐清水村3点、他地域は市町村ごと1点 <p>・調査結果 一関市(旧磐清水村以外)(10月26日、不検出)、平泉町(11月6日、不検出)、奥州市(10月20日、不検出)、金ヶ崎町(10月20日、不検出)、花巻市(11月4日、不検出)、北上市(11月4日、不検出)</p> <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関 作付予定者把握済 一関市、平泉町 塩化カリ配布済 検査計画 奥州市1点、金ヶ崎町1点 <p>・調査結果 一関市(10月27日、不検出)、西和賀町(10月27日、不検出)、奥州市(11月1日、不検出)、北上市(11月2日、不検出)、平泉町(11月9日、不検出)、金ヶ崎町(11月17日、不検出)、遠野市(11月17日、不検出)、花巻市(11月27日、不検出)</p> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関市 作付予定者把握済、塩化カリ施肥済 <p>・調査結果 奥州市・金ヶ崎町・西和賀町(10月30日 不検出)、一関市・北上市(11月7日 不検出)、花巻市(11月13日 不検出)、平泉町(11月28日 不検出)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を県HP、報道機関へ公表 ・30年産大豆(一関)の放射性物質の吸収抑制対策として塩化カリ施用指導 	(農政部、普及センター)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(農作物)	(麦、大豆、そば等)	<p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果(12月27日) 北上市、西和賀町、一関市、花巻市、奥州市、遠野市、金ヶ崎町不検出 <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 北上市(10月30日、不検出)、西和賀町(11月2日、1.4Bq)、花巻市(11月4日、不検出)、奥州市(11月5日、1.5Bq/kg)、遠野市(11月13日、不検出)、金ヶ崎町(12月11日、不検出)、一関市(11月27日、不検出) ※平泉町は、検査なし <p>【令和3年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 奥州市(11月11日)、一関市(11月16日)、花巻市(11月17日)、北上市(11月11日)、西和賀町(11月15日)、遠野市(11月18日)、金ヶ崎町(11月25日)、いずれも不検出 <p>【令和4年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 花巻市(11月16日)、北上市(11月16日)、遠野市(11月16日)、一関市(11月16日)、奥州市(11月18日)、金ヶ崎町(11月18日)、いずれも不検出 <p>4 その他穀類は、県内の主要品目を対象に検査を実施</p> <p>【平成27年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. 調査場所 管内2点(全県5点)、花巻市 ひえ1点、はとむぎ 1点 イ. 調査結果 すべて不検出 <p>【平成28年度】</p> <p>28年産の調査規模については調整中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 花巻市ひえ(11月6日、不検出)、はとむぎ(11月6日、不検出) <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 花巻市ひえ(11月28日、不検出)、はとむぎ(11月28日、不検出) <p>【令和2年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 花巻市ひえ(11月17日、不検出)、花巻市はとむぎ(12月16日、不検出) <p>【令和3年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 花巻市ひえ(12月7日、不検出)、花巻市はとむぎ(12月7日、不検出) <p>【令和4年産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果 花巻市 ひえ(1月23日、不検出)、はとむぎ(1月23日、不検出)、きび(1月23日、不検出) 		(農政部、普及センター)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
	野菜・果樹	<p>1 野菜</p> <p>【平成27年産】</p> <p>以下のとおり市毎に調査を実施</p> <p>対象品目</p> <p>奥州市 きゅうり(5月19日 不検出)、トマト(6月29日 不検出)、ピーマン(6月19日 不検出)</p> <p>遠野市 ほうれんそう(5月22日 不検出)</p> <p>一関市 きゅうり、トマト、なす、ピーマン(5月29日 不検出)</p> <p>花巻市 きゅうり、ピーマン、ねぎ</p> <p>北上市 さといも</p> <p>【平成28年産】</p> <p>○検査対象品目と結果</p> <p>一関市 きゅうり(6月1日 不検出)、トマト(6月1日 不検出)、ピーマン(5月27日 不検出)、なす(6月1日 不検出)</p> <p>奥州市 きゅうり(5月17日、不検出)、トマト(6月30日、不検出)、ピーマン(6月8日、不検出)</p> <p>花巻市 きゅうり(7月21日、不検出)、ピーマン(5月27日、不検出)、ねぎ(8月10日、不検出)</p> <p>北上市 トマト(6月14日、不検出)、さといも(9月1日、不検出)、ねぎ(7月22日、不検出)</p> <p>遠野市 ほうれんそう(5月27日、不検出)</p> <p>【平成29年度】</p> <p>・平成23年度から28年度までに野菜22品目383点の放射性物質検査を実施し、いずれも不検出だが、消費者から検査の継続要望があるため、県内の生産を概ねカバーする市町村で検査を実施。</p> <p>○検査対象品目と結果</p> <p>一関市 トマト(6月12日、不検出)、ピーマン(6月12日、不検出)、なす(6月12日、不検出)</p> <p>奥州市 きゅうり(5月23、不検出)、ピーマン(6月6日、不検出)、トマト(6月28日、不検出)</p> <p>花巻市 ねぎ(8月10日、不検出)</p> <p>北上市 さといも(8月31日、不検出)</p> <p>【平成30年度、令和元年度、令和2年度】</p> <p>○検査予定なし</p> <p>・測定対象を示す国のガイドラインが改正され、検査対象から除外されたほか、放射性物質濃度測定で不検出が継続していることから、測定対象から削除するもの。</p>	<p>・調査結果を県HP、報道機関へ公表</p> <p>・随時、市場関係者に対して調査結果の情報を提供</p>	<p>農政部、普及センター</p>

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(農産物)	(野菜・果樹)	<p>2 果樹</p> <p>【平成27年産】</p> <p>以下のとおり市毎に調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象品目 奥州市 りんご(8月4日、不検出)、ブルーベリー(7月10日、不検出) 花巻市 りんご 一関市 りんご、日本なし(8月31日、不検出) 北上市 りんご 遠野市 ブルーベリー(7月14日、不検出) <p>【平成28年産】</p> <p>○検査対象品目と結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 一関市 りんご(9月1日、不検出)、日本なし(9月1日、不検出) 奥州市 りんご(8月9日、不検出) 花巻市 りんご(8月26日、不検出)、ぶどう(8月5日、不検出)、西洋なし(10月11日、不検出) 北上市 りんご(9月1日、不検出) 遠野市 ブルーベリー(7月6日、不検出) <p>【平成29年度】</p> <p>○検査対象品目と結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 花巻市 りんご(8月10日、不検出)、なし(10月6日、不検出) 遠野市 ブルーベリー(7月10日、不検出) 奥州市 りんご(8月21日、不検出) 一関市 なし(9月11日、不検出) <p>【平成30年度、令和元年度、令和2年度】</p> <p>○検査予定なし</p> <ul style="list-style-type: none"> 測定対象を示す国のガイドラインが改正され、検査対象から除外されたほか、放射性物質濃度測定で不検出が継続していることから、測定対象から削除するもの。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果を県HP、報道機関へ公表 随時、市場関係者に対して調査結果の情報を提供 	(農政部、普及センター)
(畜産物)	流通食品(牛肉)	<p>岩手県から出荷される肉牛は、出荷前に給与飼料からの牛肉中のセシウム濃度を算定し、基準以下であることを確認。出荷後、屠畜場で生体での検査と併せて、屠畜後にも検査を行い、牛肉の安全性を確保している。</p> <p>平成24年4月1日～令和5年11月2日現在 105,832頭検査 基準値(100Bq/kg)超 0頭</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果をHP(放射能に関する情報)及び報道機関へ公表 	農林水産部(流通課、畜産課)
	牛肉、子牛、廃用牛	<p>1 牛肉価格</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京食肉市場における本県の枝肉価格について、平成22年7月と、稲わらの放射性セシウムの検出が公表された後(平成23年7月19日～7月22日)の価格を比較すると、和牛A5で26%(2,168円/kg→1,604円/kg)、A4で38%(1,672円→1,044円/kg)下落 東京食肉市場の岩手県産去勢牛価格は、震災以前の価格に戻っている。 震災以前(平成23年2月) 1,910円 → 平成30年1月 2,570円/kg <p>2 子牛価格</p> <ul style="list-style-type: none"> 県南家畜市場の平成29年和牛子牛1頭当たり平均価格は、震災以前の価格に戻っている。 震災以前(平成23年2月) 410,506円 → H30年2月 755,917円 <p>3 廃用牛</p> <ul style="list-style-type: none"> 停滞は解消済み 	<ul style="list-style-type: none"> 牛肉中放射性物質濃度推定による指導の継続と生体推定検査による補完検査により適正な出荷体制の確保 牛肉の放射性物質検査結果については、県HPで情報を公開 	農政部、普及センター

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(畜産物)	原乳	<p>【調査日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回実施、令和4年4月以降の調査頻度は2カ月に1回、令和5年4月以降は3カ月に1回 <p>【調査場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コールドセンター3か所(遠野市、一関市、金ヶ崎町)を令和4年4月からクーラーステーション1か所(金ヶ崎町)に縮小 <p>【調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度から県南広域振興局管内を含めすべて不検出 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果をHP、報道機関へ公表 	農政部、普及センター
(その他)	農地土壌	<p>【調査日】平成23年10月31日～11月30日</p> <p>【調査場所】 県内全市町村において旧市町村単位(奥州市、一関市平泉町等はセンサス集落単位) 計160地点</p> <p>【調査結果】 最大756Bq/kg、最小は不検出で、全ての地点で水稲作付け制限判断基準以下(基準: 5,000Bq/kg)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年1月に、県のHPで速報値を公表 ・平成24年3月に、国がデータの再精査を行い、農林水産省HPにおいて公表 	
	野生動物	<p>管内で捕獲された野生鳥獣肉の放射性物質</p> <p>【調査日】 令和5年4月23日～令和5年7月22日 ※捕獲日</p> <p>【調査対象】ツキノワグマ、ニホンジカ、ヤマドリ ※全県分</p> <p>【調査結果】(放射性セシウム濃度Bq/kg)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツキノワグマ: 5.9～64 Bq/kg(10検体の検査実施。基準超過0件) ・ニホンジカ : 不検出～120 Bq/kg(37検体の検査実施。基準超過1件) ・ヤマドリ : - <p>国から本県全域を対象とした出荷制限指示があった。 (クマ肉 24.9.10、シカ肉 24.7.26、ヤマドリ肉 24.10.22)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果をHP及び報道機関へ公表 	保健福祉環境部 出典:岩手県ホームページ(自然保護課)

県HP更新なし

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
林産物	しいたけ	<p>しいたけの出荷自粛、出荷制限指示の状況</p> <p>○施設栽培原木しいたけの出荷自粛の一部解除</p> <p>平成25年12月13日 一関市4名 平成26年3月7日 一関市1名 平成25年12月27日 奥州市3名 平成27年2月10日 一関市5名 平成27年7月17日 一関市1名 平成28年1月18日 一関市5名</p> <p>○露地栽培原木しいたけ 出荷制限指示 一関市、奥州市、平泉町(平成24年4月25日) 花巻市、北上市、遠野市、金ヶ崎町(平成24年5月7日)</p> <p>○露地栽培原木しいたけの出荷制限の一部解除</p> <p>平成26年10月7日 花巻市20名、北上市2名 平成27年4月10日 遠野市9名、一関市2名、花巻市2名、北上市1名 平成27年7月17日 金ヶ崎町2名、花巻市14名、遠野市7名、一関市4名 平成28年1月25日 花巻市10名、北上市2名、遠野市5名、一関市9名 奥州市2名 平成28年9月12日 花巻市5名、北上市1名、遠野市1名、一関市1名 奥州市1名 平成29年2月28日 花巻市10名、一関市12名、奥州市1名 平成29年9月21日 花巻市1名、遠野市4名、一関市4名、奥州市2名 平成30年3月22日 奥州市1名、一関市2名 平成30年3月28日 平泉町1名 平成30年9月18日 奥州市1名、花巻市2名、遠野市6名、一関市3名 平成31年3月12日 一関市3名 令和1年8月21日 一関市1名 令和2年7月27日 遠野市2名 令和3年7月20日 北上市2名、奥州市2名、一関市1名 令和4年8月9日 一関市1名 令和5年1日31日 一関市2名</p> <p>(合計164名)</p>	<p>平成27年に種菌メーカー技術者等で結成した「県南広域原木しいたけ産地再生応援隊」による栽培指導を通じ、出荷制限解除に向けた取組や栽培管理とともに、安定的なしいたけ原木の確保を進める。</p> <p>1 生産再開に向けた指導・支援 (1)生産再開を希望する生産者を対象にした解除検査の実施。(一関:施設ロットの追加1、露地新規1とロットの追加1) (2)出荷可能な生産者に対する、ほだ木検査及び出荷前検査の効率的な実施。</p> <p>2 栽培管理等 (1)応援隊の構成員※等と連携した栽培管理の取組を継続。 ※ 平成30年度:24人、令和元年度:18人、令和2年度24人、令和3年度24人、令和4年度:23人 (2)現地指導や地区研修会等を通じた発生操作等による収量確保の支援。</p> <p>3 地域内原木の供給体制の整備 (1)県南広域管内からの原木調達を促進するため、原木林調査を継続。(非破壊検査機の使用を含め、効率的で確実な検査方法等を検討していく。) (2)新たな植栽木及び萌芽更新した原木の成長量及び放射性物質濃度調査。(一関) (3)西和賀町の原木林の可能性調査と供給体制の整備を検討。(収量調査の継続)</p> <p>4 生産者の意欲向上・所得向上及び県南地域のブランド力の再興 (1)市場開拓に向けた調査による販売促進(一関) (2)地産地消(学校給食等)(県南)</p>	林務部

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
	しいたけ以外の栽培きのこ	<ul style="list-style-type: none"> ○露地原木なめこ 出荷制限指示 一関市、奥州市 ○露地原木くりたけ 出荷制限指示 一関市、奥州市 ○露地原木ひらたけ 出荷自粛要請 奥州市 ○露地原木ぶなはりたけ 出荷自粛要請 一関市 ○露地原木むぎたけ 出荷自粛要請 一関市 ○露地栽培原木なめこの出荷制限の一部解除 令和4年5月13日 一関市1名 ○露地栽培原木くりたけの出荷制限の一部解除 令和5年4月27日 一関市1名 	<p>しいたけと同様の取組を推進。</p> <p>原木くりたけの一部解除のための検査を実施(一関市: 新規1)</p>	(林務部)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(林産物)	山菜・野生きのこ	<p>《山菜》 国の出荷制限指示 ○コシアブラ 花巻市、奥州市、北上市、遠野市、一関市(平成27年追加) ○ゼンマイ 一関市、奥州市 ○ワラビ 奥州市、平泉町 ○タケノコ 一関市、奥州市 ※一関市の野生セリについては、平成27年12月21日で解除 ※奥州市の野生セリについては、令和2年4月15日で解除 ※一関市のタケノコについては、令和2年4月24日で一部解除(旧大東町、旧東山町、旧藤沢町) 令和5年2月17日で一部解除(旧花泉町、旧千厩町) ※一関市の野生ワラビについては、令和2年11月16日で解除 ※奥州市の野生ワラビについては、令和5年2月17日で一部解除(旧水沢市、旧江刺市、旧胆沢町) ※平泉町の野生ワラビについては、令和5年2月17日で一部解除(旧平泉町) ※奥州市のタケノコについては、令和4年3月16日で一部解除(旧水沢、旧江刺、旧胆沢)</p> <p>県の出荷自粛要請 ※奥州市の野生フキについては、平成27年9月28日で解除 ※花巻市の野生くさそてつ(コゴミ)については、平成29年1月31日で解除 ※奥州市のサンショウ(野生)については令和4年3月16日で解除 ※一関市の野生ミズについて令和4年3月16日で解除 ※一関市の野生タラノメについて令和5年11月2日で解除</p>	<p>1 野生山菜類 (1)出荷制限等の山菜への対応 ・今後も放射性物質濃度の低減傾向を確認するため、定点での検査を継続。(品目及び市町別) ・低減傾向が確認された品目については、関係市町の意向も確認しながら、詳細検査の実施を検討。(詳細検査の実施にあたっては国との事前協議が必要)</p> <p>(2)出荷制限解除となった山菜への対応 ・出荷前検査及び出荷期間中の定期検査、モニタリング検査の実施。 ・奥州市産の野生フキ及び一関市産の野生セリ、野生ワラビ、タケノコ(旧大東町、旧東山町、旧藤沢町産)については、出荷前検査から「県産農林水産物の放射性物質濃度の検査計画」に定めるモニタリング検査に移行した。(各3検体)</p> <p>(3)出荷制限の解除の状況 ・奥州市のコシアブラ、ゼンマイ、一関市のコシアブラ、ゼンマイ、タケノコ(旧一関市、旧室根村、旧川崎村)について引き続き経過観察。</p>	(林務部)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
		<p>・野生きのこ測定結果</p> <p>平成30年度</p> <p>アミタケ(奥州市:89~92Bq/kg、一関市:200Bq/kg、290Bq/kg)</p> <p>ハナイグチ(奥州市:13Bq/kg)</p> <p>ハタケシメジ(奥州市:不検出)</p> <p>ムレオオウセンタケ(遠野市:170Bq/kg)</p> <p>コウタケ(一関市:480Bq/kg、1,000Bq/kg、平泉町7,100Bq/kg)</p> <p>ムキタケ(一関市:240Bq/kg)</p> <p>シヤカンシメジ(一関市:34Bq/kg)</p> <p>サクランシメジ(一関市:240Bq/kg、950Bq/kg、平泉町:2,600Bq/kg)</p> <p>ナラタケ(一関市7.9Bq/kg)</p> <p>キクラゲ(平泉町:170Bq/kg)</p> <p>ホウキタケ(平泉町:3,000Bq/kg)</p> <p>ホンシメジ(平泉町:2,600Bq/kg)</p> <p>令和元年度</p> <p>アミタケ(奥州市:87Bq/kg、一関市:22~400Bq/kg)</p> <p>ハナイグチ(奥州市:15Bq/kg)</p> <p>ハタケシメジ(奥州市:不検出)</p> <p>ナラタケ(金ケ崎町:不検出)</p> <p>ムレオオウセンタケ(遠野市:83Bq/kg)</p> <p>ムキタケ(一関市:11Bq/kg)</p> <p>ホウキタケ(一関市:1,000~5,400Bq/kg)</p> <p>サクランシメジ(一関市:540Bq/kg、1,900Bq/kg)</p> <p>シロハツ(一関市:不検出~110Bq/kg)</p> <p>オオイチョウタケ(一関市:190Bq/kg)</p> <p>ニセアブラシメジ(平泉町:12,000Bq/kg)</p>	<p>2 野生きのこ類</p> <p>・野生きのこ類全体が出荷制限の対象となっており、品目毎の出荷制限解除が可能(出荷制限解除の考え方は山菜と同様)となるが、検体の確保が困難であり、検体数が少なく解除の見通しがたたない状況。</p> <p>・経年変化の確認により現在でも基準値を大きく上回る傾向にあることから、今後も定点での検査を継続。</p>	<p>(林務部)</p>

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(林産物)	(山菜・野生きのこ)	令和2年度 ホウキタケ(一関市:200Bq/kg) ムレオオウセンタケ(遠野市:84Bq/kg) アミタケ(奥州市:不検出~330Bq/kg) ハナイグチ(奥州市:不検出) ハタケシメジ(奥州市:不検出) サクラシメジ(奥州市:240Bq/kg~1,900Bq/kg、一関市:570Bq/kg) コウタケ(奥州市:200Bq/kg、一関市:1,300Bq/kg) ナラタケ(金ケ崎町:不検出) ムレオオウセンタケ(遠野市:84Bq/kg) ムキタケ(一関市:75Bq/kg) ヌメリイグチ(一関市:140Bq/kg、210Bq/kg、平泉町:1,500Bq/kg) 令和3年度 ナラタケ(奥州市:28.50Bq/kg) アミタケ(奥州市:34.00Bq/kg) ハツタケ(奥州市:11.66Bq/kg) ハナイグチ(奥州市:不検出~600Bq/kg) ハタケシメジ(奥州市:不検出) コウタケ(奥州市:200Bq/kg、290Bq/kg、460Bq/kg、一関市:1,400Bq/kg) コガネタケ(奥州市:7.8Bq/kg) ムキタケ(一関市:98Bq/kg) ヌメリイグチ(一関市:520Bq/kg、960Bq/kg) ホウキタケ(一関市:1,100Bq/kg)		(林務部)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(林産物)	(山菜・野生きのこ)	<p>令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ナラタケ(花巻市、奥州市:不検出、金ケ崎町13.0Bq/kg) アミタケ(奥州市:18.0Bq/kg) ハツタケ(奥州市:8.6Bq/kg) ハタケシメジ(奥州市:不検出) コウタケ(奥州市:110~200Bq/kg、一関市:750Bq/kg) コガネタケ(奥州市:17.0Bq/kg) ホウキタケ(一関市:1,100Bq/kg) ヌメリイグチ(一関市:130Bq/kg) ムキタケ(一関市:200Bq/kg、奥州市:不検出) チチタケ(北上市:26Bq/kg) シヤカシメジ(北上市:不検出) ナメコ(西和賀町:14Bq/kg) <p>令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> イグチ(花巻市:20Bq/kg、北上市:14Bq/kg) アカヤマトリ(奥州市:150Bq/kg) ハツタケ(奥州市:不検出~21Bq/kg) アミタケ(奥州市:不検出~720Bq/kg、金ケ崎町:26~64Bq/kg、一関市:850Bq/kg、平泉町:80Bq/kg) コウタケ(奥州市:140~320Bq/kg、一関市:1,100Bq/kg) サクラシメジ(奥州市:240~380Bq/kg、一関市:110Bq/kg) ハタケシメジ(奥州市:不検出) チチタケ(一関市:14Bq/kg) ヌメリイグチ(一関市:96Bq/kg、430Bq/kg、平泉町:930Bq/kg) タマコタケ(一関市:130Bq/kg) シヤカシメジ(一関市:11Bq/kg) ホウキタケ(一関市:950Bq/kg) カラカサタケ(平泉町:不検出) ムレオオフウセンタケ(遠野市:85Bq/kg) 		(林務部)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
水産物	内水面	<p>国が出荷制限を指示している川魚は、以下のとおり(管内のみ) (対象魚種) (対象水域) (漁業権管理者) (出荷制限等) イワナ 砂鉄川水系 砂鉄川漁協 国</p> <p>【平成27年度】 ・平成27年9月30日付け磐井川のイワナに係る国の出荷制限指示が解除 ・平成27年9月30日付け磐井川のヤマメに係る県の採捕自粛要請が解除</p> <p>[調査結果:放射性セシウム] ・砂鉄川のイワナの定期的な放射性物質検査において、全て基準値を下回った。</p>		農政部 (水産振興課)
産業活動	食産業	<p>(1) 食クラスターネットワークにおいて、食品事業者から ① 放射能による風評被害(消費者からの問い合わせ、各種フェアの開催中止など) ② 取引先からの放射性物質安全証明の提出要請への対応などについて、相談を受けている。</p>		経営企画 部産業振興室
	廃棄物 廃棄物処理 施設設置者 実施結果 (県資源循環推進課と りまとめ)	<p>一般廃棄物焼却施設(焼却灰) ※直近の測定結果 ○胆江地区衛生センター(測定日:令和5年3月27日) 測定結果:主灰 36Bq/kg、飛灰 140Bq/kg ○一関清掃センター(測定日:令和5年3月8日) 測定結果:主灰 44Bq/kg、飛灰 117Bq/kg ○岩手中部クリーンセンター(測定日:主灰令和5年3月8日、飛灰令和5年3月6日) 調査結果:主灰 24Bq/kg、飛灰 12Bq/kg ○大東清掃センター (調査義務免除のためデータなし)</p> <p>(参考)埋立処分基準8,000Bq/kg</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">県HP更新なし</div>	保健福祉 環境部 出典:岩 手県ホー ムページ (資源循環推進 課)

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当																		
(産業活動)	浄水発生土 県内の水道事業者等が実施した結果(県民くらしの安全課とりまとめ)	<p>【調査日】 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>【調査場所】 県南局管内は、岩手中部水道企業団の6浄水場、遠野市の1浄水場、奥州金ヶ崎行政事務組合の1浄水場、一関市の2浄水場</p> <p>【調査結果】 検出せず～33 Bq/kg</p> <p>※ 管理型処分場に埋立処分ができるとされている8,000Bq/kgを下回っている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">県HP更新なし</div>		保健福祉環境部 出典:岩手県ホームページ(県民くらしの安全課)																		
	下水道等汚泥	<p>【調査日】 平成23年6月～継続中</p> <p>【調査場所】 都南浄化センター、北上浄化センター、水沢浄化センター、一関浄化センター</p> <p>【調査頻度】 (放射性物質濃度) 脱水汚泥: 不定期 焼却灰: 1回/1月(都南、北上)</p> <p>(放射線量) 1回/1年(都南、北上)、6か月(水沢、一関)</p> <p>【調査結果(最新)】</p> <p>1 放射線濃度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱水汚泥(試料採取日:平成30年1月8日 測定日:平成30年1月10日) <ul style="list-style-type: none"> 都南浄化センター セシウム合計: 1.0 Bq/kg 北上浄化センター セシウム合計: 0.7 Bq/kg 水沢浄化センター セシウム合計: 2.3 Bq/kg 一関浄化センター セシウム合計: 7.1 Bq/kg ・焼却灰(試料採取日:令和5年8月7日 測定日:令和5年10月2日) <ul style="list-style-type: none"> 都南浄化センター セシウム合計: 21 Bq/kg 北上浄化センター セシウム合計: 26Bq/kg <p>(埋立可能基準:8,000Bq/kg以下)</p> <p>2 放射線量(敷地境界等)測定年月:令和5年6月(都南、北上)、令和5年6月(水沢、一関)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都南 0.032 μSv/h ・北上 0.050 μSv/h ・水沢 0.061 μSv/h ・一関 0.054 μSv/h 		土木部調整課																		
	合同庁舎	<p>合同庁舎の測定状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">1 奥州地区合同庁舎</td> <td style="width: 20%;">令和4年10月11日</td> <td style="width: 50%;">放射線量 0.05～0.16 μSv/h</td> </tr> <tr> <td>2 奥州地区合同庁舎分庁舎</td> <td>令和4年10月11日</td> <td>放射線量 0.05 μSv/h</td> </tr> <tr> <td>3 奥州地区合同庁舎江刺分庁舎</td> <td>令和4年10月7日</td> <td>放射線量 0.05～0.06 μSv/h</td> </tr> <tr> <td>4 遠野地区合同庁舎</td> <td>令和4年4月27日</td> <td>放射線量 0.06～0.09 μSv/h</td> </tr> <tr> <td>5 一関地区合同庁舎</td> <td>令和4年10月4日</td> <td>放射線量 0.05～0.09 μSv/h</td> </tr> <tr> <td>6 一関地区合同庁舎千厩分庁舎</td> <td>令和4年10月21日</td> <td>放射線量 0.03～0.06 μSv/h</td> </tr> </table> <p>※ 調査地点は、局所的に放射線量が高い地点の絞り込み(予備調査)を行い放射線量が高い場所から順に5～10か所程度を調査</p> <p>※ 主な高い場所 側溝、雨樋下(砂利敷)、集水桝、軒下(草地)</p>	1 奥州地区合同庁舎	令和4年10月11日	放射線量 0.05～0.16 μ Sv/h	2 奥州地区合同庁舎分庁舎	令和4年10月11日	放射線量 0.05 μ Sv/h	3 奥州地区合同庁舎江刺分庁舎	令和4年10月7日	放射線量 0.05～0.06 μ Sv/h	4 遠野地区合同庁舎	令和4年4月27日	放射線量 0.06～0.09 μ Sv/h	5 一関地区合同庁舎	令和4年10月4日	放射線量 0.05～0.09 μ Sv/h	6 一関地区合同庁舎千厩分庁舎	令和4年10月21日	放射線量 0.03～0.06 μ Sv/h		総務部総務課
1 奥州地区合同庁舎	令和4年10月11日	放射線量 0.05～0.16 μ Sv/h																				
2 奥州地区合同庁舎分庁舎	令和4年10月11日	放射線量 0.05 μ Sv/h																				
3 奥州地区合同庁舎江刺分庁舎	令和4年10月7日	放射線量 0.05～0.06 μ Sv/h																				
4 遠野地区合同庁舎	令和4年4月27日	放射線量 0.06～0.09 μ Sv/h																				
5 一関地区合同庁舎	令和4年10月4日	放射線量 0.05～0.09 μ Sv/h																				
6 一関地区合同庁舎千厩分庁舎	令和4年10月21日	放射線量 0.03～0.06 μ Sv/h																				

県における原発放射線影響対策の状況(県南広域振興局管内)

(令和5年11月16日現在)

(朱書き)部分は、前回からの変更(修正)部分であること。

大項目	中項目	現状(測定調査状況・測定結果等)	対策	担当
(その他)	放射線による健康被害	<p>○福島原子力発電所被災に係る放射線による健康被害に不安感を持つ住民等からの相談対応-実施主体:岩手県奥州保健所</p> <p>○子どもの放射線健康影響調査の実施(継続調査)-実施主体:保健福祉部医療政策室 奥州市、一関市、金ヶ崎町、平泉町内の子どもで、調査に協力を申出た子どもを対象に、平成23～28年度に尿中の放射線セシウムや放射線ヨウ素の含有量の調査を行った。 平成29年度については、県庁保健福祉部医療政策室が平成29年9月22日に希望調査を実施し、6名の希望(奥州市4名、一関市1名、平泉町1名)があったが、県有識者会議の「継続調査は必要なし」の意見を受け、平成23年度から実施していた調査事業は平成29年度で終了とした。</p> <p>○放射線健康相談等支援事業費補助(継続事業)-実施主体:保健福祉部医療政策室 市町村が実施する内部被ばく検査及び相談支援事業に対する補助を行う。</p> <p>○県公式ホームページ等による情報発信の継続。-実施主体:保健福祉部医療政策室 【平成29年度】 平泉町においては、内部被ばく検査(尿検査及び甲状腺検査)を実施 ・尿検査 希望者数 20名(4～15歳)、実施者数 17名、【結果】全員異常なし ・甲状腺検査 実施者数 5名、【結果】所見あるも2次検査不要 2名、異常なし 3名 【平成30年度】 ・平泉町における内部被ばく検査(尿検査及び甲状腺検査)実施予定なし。 【令和元年度】 ・平泉町における内部被ばく検査(尿検査及び甲状腺検査)実施予定なし。 【令和2年度以降】 ・平泉町における内部被ばく検査(尿検査及び甲状腺検査)実施予定なし。</p>		保健福祉 環境部 保健課
	現地対応チーム	<p>≪主な活動内容等≫</p> <p>○平成24年3月13日 県南広域振興局に原発放射線影響対策本部「現地対応チーム」を設置。</p> <p>○平成24年4月 知事による現地視察及び管内情勢の聴取。</p> <p>○平成24年4～7月 管内首長と局長との意見交換会の実施。</p> <p>【平成27年度】 1 現地対応チーム員会議の開催 これまでの活動報告及び今後の活動方針等を確認し、情報を共有。(4月) 2 情報共有(提供) (1) 局内部長等会議において、管内の原発放射線影響対策に係る取組状況やトピック等について定例的に報告し情報を共有。 (2) 定期的(毎月)に県南広域振興局管内における原発放射線影響対策の状況について、管内市町及び報道機関へ情報提供。</p> <p>【平成28～令和2年度】 (平成27年度同様の取組みを継続) 【令和3～令和5年度】 ・局内における情報共有 ・県南広域振興局管内における原発放射線対策の状況について、管内市町及び報道機関に隔月で情報共有</p>		総務部 総務課